

# 牛久二中だより

牛久市立牛久第二中学校  
平成28年9月9日発行  
学校通信9月号①[文責櫻井]

## 地域とともに 「おくの キャンパス」

夏休みが終わり、二学期制の本校では、一学期のまとめの月となります。夏休みとは言っても、今の学校は、校内、校外で生徒が何らかの活動を毎日しているのが現状です。サマースクール、かっぱ祭りの練習、職場体験、高校見学会、そして部活動等々、本校の89人の生徒は皆、学校や地域で大活躍の日々でした。

特にこの夏休みに感じたのは、生徒一人一人が、地域の一員としての自覚を強めたのではないかとことです。地区生徒会ボランティアでは、各地区の区長さんをはじめ地域の方々と各地区施設や道路の清掃活動、祭りの準備、実施、後片付けなど、地域活動の担い手としての経験をすることができました。そこで一緒に活動した地域の方々の「あたたかさ」や「地域を活性化したいという想い」にふれ、生徒は、自分が地域を担う一員であることを自覚してくれたと思います。各地域の皆様にも、自分の地域に、頼もしい中学生がいることを分かっていただけだと思います。先日、市役所に行った際に、島田地区の区長さんから声をかけられ、「校長先生、中学生がよく働いてくれたよ。若い先生が2人も来てくれてびっくりしたよ、ありがとう。」と仰ってくださいました。中学生にとって自分たちの住む地域こそが、「ふるさと」であり、自分が生きていく場所であり、一生心の支えとなる場所です。その地域を担っている人々がいてくれて、自分もその一員になっていくんだという気持ちを持つことができた夏休みでした。



(地域を守る一日防犯連絡員)



(未来に向けて中学生模擬議会)



(地区生徒会でボランティア)



(吹奏楽部・おくのウインドベルズ合同演奏会)



(かっぱ祭りは二中の伝統)



(保育園・福祉施設訪問の吹奏楽部)

以前からお知らせして参りましたとおり、牛久第二中学校と奥野小学校は様々な形で小中一貫した教育を進めております。これまで名称を「奥野学園」と呼んできましたが、この度、奥野小学校・牛久第二中学校のコミュニティースクール準備委員会で検討され、名称が「おくの キャンパス」と決まりました。今後も地域と一体になって子どもたちを育てて参ります。

<学校便りなどのお便りは、学校ホームページにも掲載されています。是非ご覧ください。>

